

19. 看護師の離職防止と定数確保 「7：1看護実現のために」

駿河台日本大学病院 師長 木下美紀

[実践概要]

当院では平成19年4月から「7：1」の看護体制を取り入れる予定である。しかし看護師の採用状況は厳しく9月1日現在、来年4月の入職予定者は21名であり例年の採用人数の半数以下である。そこで、4月入職者採用に加え従来行っていなかった、年度途中での採用及びパート雇用を推進しているが定着には結びついてない。入職予定者が少ないので看護師が今以上減少しないよう職場環境を整え離職防止対策が必要である。また、一般の応募が激減した原因を究明し平成20年度の応募人数の増加を図る必要がある。

[実行計画]

1. 7：1が実施できる看護師数の確保。

1) 離職した看護師の積極的雇用。

①退職した看護師に再就職の誘いの手紙を書く。

②短期留学後、帰国の挨拶に来院した看護師に再就職の誘いをする。

2) 看護要員対策委員会の設置（随時、中途採用・パートを募集）

①ホームページ、就職情報誌に募集を掲載。

②募集冊子に掲載。

③教職員に看護師の紹介を依頼（全教職員に通達）

3) ホームページの活用。

①現場の看護師の声を掲載（各部署毎に）

②新人教育・卒後教育を詳細に明るい色調に変更し掲載。

③毎月第1土曜日午前7時～8時に行っている「看護を語る会」の内容を掲載。

2. 職場環境を改善（魅力ある職場、風通しの良い職場）し離職防止を図る。

1) 師長・師長補佐・主任会で離職防止について問題を共有し改善する。（11月）

2) 師長・師長補佐・主任会で一般応募が減少している原因について話し合い改善策を立て実行する。（12月・1月）

3) 他施設（私立大学病院）を訪問し離職防止、人材確保について情報を得る。（1月）

[結果及びまとめ]

1. 離職した看護師の再雇用7名。職員の紹介により就職した看護師4名。

2. 平成19年4月1日入職予定者は31名、中途採用者が25名で例年通りの採用人数になった。

3. 平成17年度の退職者49名、平成18年度は47名。退職を取りやめたり延期する人が出てきた。

4. 看護師の募集は継続中。一病棟11床閉鎖し353床で平成19年4月から「7：1」看護が実施できる。閉鎖した病床は部科長室に転用する。

5. 他施設訪問で学んだ事を導入。新人教育については①集中教育の期間を短縮 ②カルガモ研修の導入。③「職場満足度調査」を環境改善委員会の協力を得て平成19年度から実施

する。

6. 一般応募が激減した決定的原因は不明であるが、①4週6休と他施設に比較すると休日が少ない。②スペシャリストを目指す看護師にとって具体的に目指すものがなく魅力がない。③認定看護師を目指すにも休職をして受講料も自分で出さなければならない④病院の老朽化等が考えられた。平成20年度の募集に向けてまず急性期看護の体系化を図るなど実現可能なことから調整していく。